プレスリリース

2026年11月12日

日本ボレイト株式会社

定期検査を迎える住まいが5年で約2.5倍に
施工の担い手を全国で募集

保証登録5万棟超の住まいを最長35年守る「施工代理店」
12月11日にオンライン事業説明会

日本ボレイト株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅葉健介）は、ホウ酸による木材保存処理「ボロンdeガード®工法」の施工代理店を全国で募集します。2026年12月11日（金）18時から、オンラインで事業説明会（参加無料）を開催します。同工法で施工した住まいのうち、2025年に定期検査の時期を迎えたのは延べ4,470棟で、5年前（2020年・1,769棟）の約2.5倍に増えました。

【建設業の担い手が減るなか、検査の需要は毎年積み上がる】
建設業の就業者は、ピークの685万人（1997年）から478万人（2025年）まで、約3割減っています（国土交通省資料・総務省「労働力調査」より）。住まいを長く使い続けるための点検や維持管理も、担い手の確保が課題になっています。
ボロンdeガード®工法は、ホウ酸で構造材をシロアリや腐朽菌から守る処理です。ホウ酸は揮発しない無機鉱物のため、室内の空気を汚さず、効果が長く続きます。新築では、5年ごとの定期検査を続けることで最長35年のシロアリ保証が付与されます。
定期検査は、その住まいを施工した代理店が担当します。施工した棟数が増えるほど、引き渡し後も続く仕事が増えていく仕組みです。保証登録の累計は5万棟を超え（2025年7月調べ）、定期検査の時期を迎える住まいは、2026年には延べ5,263棟になる見込みです。

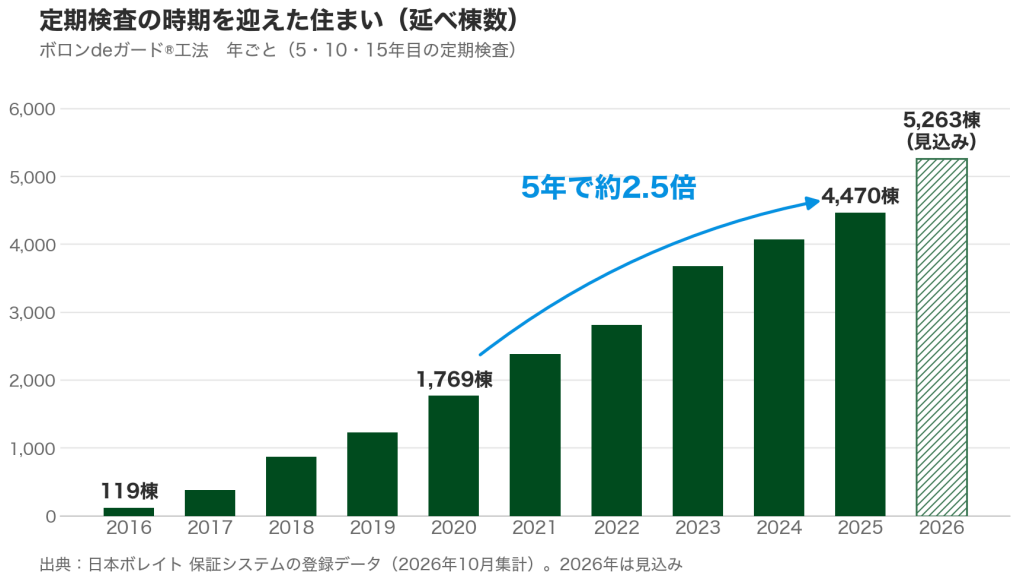
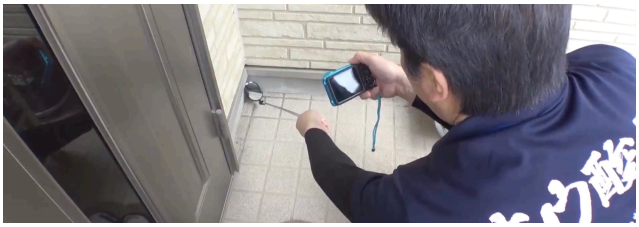


図1　定期検査の時期を迎えた住まいの延べ棟数（2016～2025年、2026年は見込み）

【本業に「＋α」で始められる施工代理店】
施工代理店は、建築会社から依頼を受けてホウ酸処理を施工し、引き渡し後の定期検査を担当します。今の本業と並行して始められるよう、次の仕組みを用意しています。
●加盟金0円から：加盟の形は3つのプランから選べる
●オンライン研修：場所を問わず受けられる。必要に応じて実際の現場で実地研修を行う
●営業の支援：説明に使える資料やチラシをそろえ、同行営業も行う
●全国のネットワーク：全国140拠点の施工代理店と、現場のノウハウを共有できる
現在の施工代理店は、シロアリ・害虫防除、塗装・リフォーム、材木店、建材の販売、設備・点検など、建築現場に出入りする業種が中心です。異業種から参入した例もあります。なお、工務店・大工を本業とする事業者は施工代理店の対象外です。費用・条件の詳細は、説明会でご案内します。全国で募集していますが、とくに東北地方は施工代理店が少なく、力を入れて募集しています。


構造材にホウ酸を処理する様子


定期検査で住まいを確認する様子

【担当者コメント】
「施工した住まいが増えるほど、定期検査で同じお宅を何度も訪ねることになります。単発の工事で終わらない仕事です。今のお客様とのつながりを生かして、住まいを長く守る仕事を一緒に担っていただける方を探しています。」（日本ボレイト株式会社　犀川 泰弘）

【開催概要】
●名称：ボロンdeガード®施工代理店 オンライン事業説明会
●日時：2026年12月11日（金）18:00～20:00
●会場：オンライン（参加用URLは開催前日にお送りします。前日・当日にお申し込みの方には、受付後すぐにお送りします）
●定員：30名（参加無料）
●内容：工法と市場、収益モデル、研修・支援の仕組み、質疑応答
●申込：施工代理店募集ページ https://borate.jp/agency/（申込締切：12月11日（金）12:00）
※日程が合わない方には、個別説明会（オンライン・対面）も随時受け付けています。11月26日（木）18:00～20:00にもオンライン説明会を開催します。

＜日本ボレイト株式会社・会社概要＞
名称　　：日本ボレイト株式会社（設立2001年6月15日、資本金1,000万円）
所在地　　：〒101-0031　東京都千代田区東神田2-6-2　タカラビル7階
代表取締役社長：浅葉健介
事業内容　　：ホウ素系木材保存剤の研究開発・製造・販売・施工
URL　　：https://borate.jp

【本件に関するお問い合わせ】
日本ボレイト株式会社／広報担当：犀川（さいかわ）／nihon@borate.info
〒101-0031　東京都千代田区東神田2-6-2　タカラビル7階
TEL.03-6659-5785　https://borate.jp